

令和4年度第1回 地域公共交通会議 会議録

日時:令和4年5月31日(火)14:00~15:30

場所:南伊勢町役場南勢庁舎3階会議室

出席者:19名(定数20名)

出席者のうち委任状による代理出席4名、委任状提出による欠席1名

- ・副町長
- ・学識経験者(名古屋大学大学院環境学研究科 加藤教授〔副会長〕)
- ・住民代表(田畑委員〔会長〕、竹内委員 代理出席、新任:畑委員、馬瀬委員、南委員、橋本委員)
- ・NPO 法人わがら理事長(自家用有償運送) 濱口委員
- ・一般乗合旅客自動車運送事業者
(三重交通(株)乗合営業課服部課長、大新東(株)南伊勢営業所古市所長)
- ・一般貸切(乗用)旅客自動車運送事業者(三重県タクシー協会伊勢志摩支部長:三交タクシー)
- ・一般乗合旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転手が組織する団体
(伊勢志摩交通 松林労働組合長)
- ・中部運輸局三重運輸支局(新任:首席運輸企画専門官)
- ・伊勢警察署(新任:交通規制係長)
- ・三重県(地域連携部交通政策課長 代理出席)
- ・三重県伊勢建設事務所(新任:副所長兼保全室長)
- ・南伊勢町(教育委員会事務局長 代理出席、観光商工課長)

事務局:南伊勢町 環境生活課課長 瀬古、生活交通係 係長 長尾、片岡



1、副町長あいさつ

2、会長あいさつ

3、説明「活発でよい議論ができる会議のために」

中部運輸局三重運輸支局 前業主席運輸企画専門官

- 4、議題
- 1)承認 令和5年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について 別紙1
 - 2)協議 町営バス大方竈線の実証運行検証 別紙2
 - 3)協議 「コメリ・ぎゅーとら」バス停(仮称)乗り入れについて 別紙3

5、その他

1、副町長あいさつ

それでは改めまして、こんにちは。南伊勢町の副町長、広田と申します。

本日は大変皆さんご多用の中、第1回南伊勢町地域公共交通会議にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。町長がご挨拶を申し上げるところですが、町外出張のため、町長に代わりまして、私からご挨拶申し上げます。

南伊勢町といたしましても、便利で利用しやすい生活交通の実現に向けて、既存の路線バスやデマンドバス等の運行についてさらなる利便性の向上、経営効率の改善のため、様々な検討を日々行っているところでございます。

この検討には、今更私が申し上げるまでもなく、きめ細やかで、より身近な路線の設定と、輸送時間の短縮という相反するような問題があったり、また、利用しやすい運行本数の確保についても、事業の採算性や継続性といった問題もありますので、極めて困難な調整が必要です。

本日は、これからの南伊勢町の生活交通ネットワークの構築に向けて、ご提案、ご説明などを申し上げる予定でございますので、委員の皆様方には、それぞれの立場から、数多くの建設的なご意見を賜れば大変ありがたいと思っております。

町民皆様、それから町内の各事業所にとって、よりよい交通ネットワークが実現できますよう、皆様にご理解、ご指導賜りますようお願いを申し上げまして、簡単ですが挨拶とさせていただきます。

本日は大変ありがとうございます。そして、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2、会長あいさつ

お忙しい中、遠い所よりお集まりいただきまして厚くお礼申し上げます。

今日は天気が悪く、梅雨に入ったのかと思いましたが、会議になったらスカッと上がりました。だから、天候のようにさわやかに、会議を進めていきたいと思っております。

委員の皆さんでリラックスして、どんどん意見を出してください。それがこの町の地域公共交通機関の発展・進展に役立つと思っておりますので、よろしく願いいたします。

本日の会議は委員が20名のうち委任状の提出も含め19名が出席されております。会議は成立するものいたします。

それでは事項書に沿って、会議を進めていきたいと思っております。

3、説明「活発でよい議論ができる会議のために」前葉主席運輸企画専門官

(前葉委員)

～冊子『活発でよい議論ができる会議のために』について説明～

(田畑会長)

ありがとうございました。限られた時間を使って重要な部分だけをご説明していただきました。

この場には、地域住民の代表の方、委員さん、素晴らしいことに女性が目立ちますので、会議で萎縮しないで、地域のためにより良い議論をしていただきたく思います。

4、議題 1)承認令和5年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について

(田畑会長)

議題1について、令和5年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について、こちらは承認事項となりますので、事務局の説明後、合意の形成を図りたいと思います

それでは事務局からの説明をお願いします。

(事務局)

～生活交通確保維持改善計画、1表、5票及び補足資料を説明～
計画については以上です。承認よろしくをお願いします。

(田畑会長)

何か説明や資料で、お気づきになった点はございませんか。

(前葉委員)

資料1、2ページの事業の目的のところ、令和4年から令和6年度の目標値のところですが、向こう3年の目標と思いますので、令和5年度から令和7年度の方が正しいと思います。

(事務局)

3年間なのでその形で修正させていただきます。

(加藤副会長)

その関連で説明しますが、ここで言う令和5から7年度というのは、補助金の場合は10月がバス業務における年度当初なので、資料の「令和5年度」というのは、「バス年度における年度当初である令和4年10月から」という意味で、今年の10月からもらえる補助金を指します。また、令和7年度の終わりは令和7年9月までを指しています。

この補助金は、3年間は運行する事を約束して、例えば今受験して、高校入ってこの路線を使おうとしていたら途中でなくなったら困るので、この3年はちゃんと運行していく、なくならないから大丈夫だよ、という保障の意味があります。

そのため資料2ページの一行目に前年度とありますが、ここでいう前年度って何なのか。

その辺混乱しやすいところで、一般的に「年度」というと4月からを指しますし、まして「前年度」というと、いつを指すのか分かりにくい。そういったところを明確に記載されると良いと思います。

(事務局)

ご指摘ありがとうございます。

この点につきましては年度で記載すると、非常にわかりにくいところがありますので、「何月」という形で、修正をして、わかりやすいように修正いたします。

(田畑会長)

委員、特に住民代表のみなさんに説明しますと、行政は単年度事業がほとんどですが、バス事業は3年間がベースの事業なので、3年やって初めて完了の形になるものです。

(加藤副会長)

そのことについて、実は今、国の検討会でそこが問題になっているのですが、これは先程申し上げたように、10月から9月に補助金をもらうということの、その一連の流れですがそれを6月末までにこの会議で話をして、事業をこの内容で3年間やりたいので、これから1年間お金をくださいという内容です。そのため、3年間事業をするといっていますが、3年間補助金がもらえる約束はしていないのです。

我々が「3年間事業します、なので補助金をください」というと、国が「わかりました」と“1年分”をくれます。

そして来年の9月に事業が終わりますと、そのあと、自己評価、PDCAサイクルの形で、結果としてうまくできたかできなかったかということ、12月から1月に地域公共交通会議の場で報告していただくこととなります。

さらに年度によっては結果を、中部運輸局まで出向いて説明して、いろいろ怒られたりすることもある、第三者評価委員会があります。

その後、次の6月の地域公共交通会議に、そのまた次年度についてどうするか、となります。つまり、今日の会議はその新しい年度を始めるための準備をしている、ということになります。

検討会で問題になっているのは、「3年間事業をするのに、補助金を1年分しか貰えないのはおかしい。3年間事業なら3年間補助金を貰える」補助制度に改める、ということです。

確定かのように各地で報道されていますが、まだ会議でそうするかどうかの議論をしているところです。

補助金の申請については、資料1が問題なければ、国が責任持って補助金を出してくれます。

(田畑会長)

委員さんも多く変わられましたので、年度始期が10月、終期が9月、という年度間隔で動いていることを、説明いただきました。事務局も資料の表現をわかりやすくしていただきますようお願いいたします。

どうも二方ありがとうございます。

(馬瀬委員)

確かに、事業年度が10月からと通常の年度開始月とずれがあることについては、説明がなければ分からなかったと思います。

よくわかりました。ありがとうございます。

(田畑会長)

事務局も委員さんが言ったことであれば、それに沿った形で修正してくれると思います。

それでは、議題1、令和5年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)についてご承認賜りますか。ありがとうございます。全員一致でご承認いただきましたので、ご意見をいただいた修正点については私がまた確認して、運輸支局様まで提出することとします。

4、議題 2)協議町営バス大方竈線の実証運行検証

(田畑会長)

議題 2 について、事務局からの説明をお願いします。

(事務局)

～阿曾浦大方竈線 運行実証実験報告、資料 2 を説明～

(田畑会長)

ありがとうございます。1月7日の出発式は私も招かれまして参加しました。

沿線住民でもある橋本委員も出発式を見守ってくれました。

そこで橋本委員、数字等での報告は先ほど事務局からありましたが、このバスが走るようになってからの地域住民視点での評価を、感覚で構いませんので教えていただけませんか。

(橋本委員)

本日数字を初めて見せていただいたんですけど、自分の感覚とあまり変わらなくて、住民の方の言ってることも一致しているし、私が思っていることが数字に反映されている思いました。

バスがあることで、すごく便利になりましたが、最終便がやはり誰も乗っていないというのが今日の資料でわかりましたし、実際、地域でも「誰も乗っていないのもったいない」という声を聴きます。

あと、もったいないその最終便を、一番最初に持っていただけることはできないかという声も出ています。6時44分阿曾浦発の便に乗りたい高校生の子がいるんですけど、それには間に合わないの、間に合うようなバスがあればすごく助かります、というのはよくお聞きします。

ほか、小学生のスクールバスの第 2 便への乗り継ぎで、スクールのためにあるのになぜ乗り継ぎが悪いという声が一様に聞かれましたのでバス停で見ていると、スクールバスが来る直前に大方竈線が出発してしまう事がありました。ですが、保護者への説明や、先生とお話することで、解決していただけましたので、町営バスに関しては、現状、うまく活用させていただいています。

ありがとうございます。

(田畑会長)

住民の方が積極的に現場の生の声を上げ、行政にぶつけ、この場で審議して改善をしていくことがとても大事だと思います。

(事務局)

先に説明した、高齢者の方のお墓参りに距離があり、阿曾浦の墓地前に新たなバス停を設けて欲しいというご意見については、三重交通様と設置について調整させていただきたいと思えます。

また、最終便に乗っていないことと、現在の始発の前に1便欲しいというご意見につきましては、今後、三重交通様と検討したいと思えます。

(田畑会長)

皆さん住民主体のまちづくりですので、機会を捉えて、思ったことをご発言いただければ、改良点として

行政も応じてくれると思いますのでよろしくお願いします。

4、議題 3)協議「コメリ・ぎゅーとら」バス停(仮称)乗り入れについて

(田畑会長)

議題3について、事務局からの説明をお願いします。

(事務局)

～「コメリ・ぎゅーとら」バス停(仮称)乗り入れについて説明～

(田畑会長)

ただいま、これから設置するバス停について説明がありました。

商業施設へバスの乗り入れる、これまでにない素晴らしいことと思います。

何かお気づきの点がございましたらおっしゃってください。

例えば、バス停周囲の透明板を利用して、観光案内板とする、宣伝スペースとして貸し出す、バス利用者は5%の割引をするようなサービス、など、管内で利用者を増やせるような面白い案は考えられませんか。お聞かせいただければありがたいです。

(島田委員)

町民が利用することが多いと思いますので、観光施設や町内のほかの店舗などを紹介したパンフレットを置きたいと考えています。

(田畑会長)

場所の整備にお金もかかりますし、バス停だけでなく、利用者にとって、それ以上に効果的な場所として有効に使っていただきたいと思います。

その中で、課長がいろんな提案が考えられると言いましたけど、その何例かを示してもらえませんか。

(事務局)

説明いたします。

こちらのバス停ができますと、町営バス以外にデマンドバスと病院のループバスもこちらを使うようになると思います。

例えば、病院に行って、ループバスで買い物に寄る場合、買い物後のそこからの交通手段はデマンドバスしかありませんでした。このバス停の設置により、病院帰りに商業施設で買い物をして、町営バスで帰宅することも可能となります。

また、昼間の時間ですと、今までデマンドバス利用者していた方が町営バスで直接来て、帰りの便まで1時間半ぐらいありますので、ゆっくり買い物をしてバスに乗って帰っていく、というようなこともあると思います。そうしますと病院の利用者と買物客がバス待合で出会うことで、新しいコミュニケーションが生まれるのではと思っております。

町長から、「バス停を明るくする」との提案があり、取り組んでおります。

そこでこのバス停でも、たいみーシールを貼ったりして、明るくし、人が集まりやすいバス停づくりを考え

たいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

(田畑会長)

買い物カート置き場をバス停の横に配置したり、自販機を設置するなどして、この空間をいかに魅力的にする具体策を行政などでも検討していただきたく思います。

委員の皆様から何か案はありませんか。

(竹内委員代理:西川さん)

バス利用者は高齢者の方が多いと思いますので、必ず椅子と、買い物カート置き場が必要だと思います。たいみーも目を引くし、町が明るい雰囲気になるので、派手にたいみーでラッピングされたらいいかと思います。

町内外の方に見ていただけるものになると思いますし、普通のバス停にするより目について、南伊勢町はこんなことをしているんだと思ってもらえれば、バスも利用しようかと思う方もいらっしゃるのではないでしょうか。

(田畑会長)

住民の視点から見て、気づいたことを仰っていただくことで、皆の工夫や知恵で魅力化が図れるのと思いますので、またよろしく願いいたします。

(加藤副会長)

何点か指摘いたします。

まず、複数路線のバスが同じところに乗り入れるということは乗り間違えに注意しなければなりません。

病院のバス停にもそのことが言えますが、ここは全部乗り入れると路線が多いので、三重交通のバスが皆同じ色だとしたら、しっかり見ないと違う方向に行ってしまうかもしれません。

難しい問題で、バス停にもっと幅があれば、行先ごとに停車箇所を分けるなどできますが、ここではきちんと乗り間違えないように、バス停ができる時にLEDや路線図等の見直しをして、一通り対策を取る必要があります。

次に、実際に運用が始まると、おそらく現状の舗装だと轍ができてくると思います。道路の痛みは重さの4乗に比例するといわれ、その関係で、バスが1台走る事の道路への負荷は、乗用車が1万台走ることに匹敵するので、本来バスが入ってくるはずでなかった駐車場は、バスが入ってくるとあっという間に傷んでしまいます。そのため、損傷を避けるため強化等の対策がされているか確認をしておいてください。

さらに、バスが入ってくることを考えると、駐車場の中なので、ゼブラゾーンを設置して、この場所はバスが停まるので入らないでほしい、といった対策をする必要があります。

ほか、バス停から店舗までの途中、屋根があるところが少しでもあるといいと思います。バス停が店舗の反対側になってしまうので屋根のある安全通路を作れば、利用者はあまり濡れずに、車が入ってこないのが安全であると思います。

そこから、先ほどのカート置き場案についてですが、利用者観点からは必須だと思います。ただし、カートをここまで持ってくると、店側がそれを戻さないといけなくなりますが、その時のカードを戻す通路としても、屋根ありの安全通路の需要はあると思います。カートが通る以上、でこぼこだと押せませんので、道路も、例

えばコンクリートで舗装するなどして平たくしておくことが必要です。

また、今のままだとバス停が南側に向きます。夏に椅子が南向きだと眩しいし暑いので、南向きでないほうがいいと思います。

対処案としては、南側にも少しアクリル板などを付けたほうが良く、冬場の海からの風も避けられるので寒さがしのげる。ただしその場合、夏場は南から風が吹かないと非常に暑い。

そのため適当に風が抜けた方が良く、風が入りすぎるのも良くないから、方向は本当は北向きが良いが、北向きだとバスが来たのがわからず、乗り過ごすこともあるかもしれない、そんな矛盾がでます。

そうすると南側が一部、アクリルでないほうがいいかもしれない、例えば全部透明でなくて、部分的にストライプにしておく等の、南向きにした際の対策が必要ではないかと思います。

続いて椅子ですが、ベンチでは休憩所みたいになってしまうので、1個1個付いているボックスタイプの普通の椅子が良い。

また、ここに携帯の充電用の電源があるとですね、今電源が非常に大事で、例えば高校生も、ここで待っている時に電源をさして充電しながら待てます。

もし電源が取れたら、現状このバス停は昼間しか使わず、夜は使用しないので電気は不要かもしれませんが、将来的に夜も乗り入れる可能性があるのもあるので付置していただくのも良いと思います。電気代もかかりますけど、そのくらいのサービスがあっても良い。

あと、夕方にバスを乗り入れないことについて、南伊勢高校の生徒がバスにどこから乗るかを考えた時に、ここからの方が乗りやすいかと思しますので、それについてどのようなお考えなのかお伺いします。

(田畑会長)

電源の設置については、このスポットで、充電できる仕組みが取り入れられれば良いと思います。

電源については太陽光パネルを設置すれば、時代に合う魅力ある提案かもしれません。

(事務局)

ありがとうございます。非常に難しいご指摘をいくつかいただきました。

現在、近隣店舗と話し合いを進めております。ただし、それから詰めていく事項が結構ございます。

まず、場所の問題として、コメリさんは車で来るお客さんが多いというイメージもあり、今後調整が必要です。ほか、調整案件もございますが、出来れば10月1日に運用開始が出来る形で、今出来ることを進めながら、また今加藤先生が言っていた対応すべきこと、利用しやすさも含めて、いろいろ検討していきたいと思います。

まず1点、15時台までしか乗り入れしない件につきましてですが、検証の後、大きな影響がないようであれば、さらに16時以降の時間帯にも乗り入れるようにしていきたいと考えておりますので、その辺のご理解をお願いします。

(田畑会長)

ここでの意見を参考にしながら、利用者が利用しやすい、便利安全を、念頭において、実現をしていただきたいと思います。

(前葉委員)

10月運用開始の予定を考えているとの事ですが、それぞれ路線の延長ですとか、運賃も新たに設定されるというところかと思えます。乗り入れに関して、運行事業者の様々な手続きがありますので、事前にご相談いただければと思います。

(田畑会長)

ご助言ありがとうございます。それについてはまた事務局と事業者で話をさせていただきます。

それから道路を新規で工事をするのであれば伊勢建設事務所の方、交通の安全性については伊勢警察署の方、それらの関係者と協議していただきたいと思えます。

手続きを省略しないで、法治国家ですので監督官庁の規制は尊重してください。

(事務局)

土地について、ここは道路上ではなく駐車場内ですので私有地になります。

土地の所有者については、今現在了解をいただいております。

この会議終了後、三重交通さんと、路線をどのように乗り入れていくか進めていきたいと思えます。

よろしく願いいたします。

(田畑会長)

バス事業者さんと乗り入れについて協力してスムーズに進めてください。

4、議題 4) 報告 令和4年度事業計画について

(田畑会長)

議題4について、事務局からの説明をお願いします。

(事務局)

～令和4年度事業計画について説明～

(田畑会長)

ありがとうございます。

予想事業ですので、赤字で表現してある部分が前年度の積み残しとなります。

これから課題の検討を進めて、利用者の利便性の確保のために事業を進めていく事についての報告でした。

今日も新しい意見として、橋本委員より大方竈線が夕方の最終便に乗客がないので、その分を早朝便に回してほしいといういただきました。ありがとうございました。

意見については今後もあちこちで噴出してくるものと思えますので、委員の皆さんも、住民の皆さんと会話する機会がありましたら、ぜひ、新しい意見について聞いてあげてこのような場で反映してもらえることで地域に密着した交通体系が築けるという認識を持っていただければと思います。

5、その他

(田畑会長)

その他何かありましたらご意見お願いします。

(島田委員)

今年度に伊勢志摩地域の市町と共同で、自転車の活用推進計画を策定するかを検討する、という事を観光商工課が担当で実施します。

(田畑会長)

ぜひお願いします。

(服部委員)

お話のありました 18 時 5 分の便についてですが、今回の実証をした時が、冬で日がまだ短い季節ですので、日が長くなっていくと、ご利用状況はどう変わるのかと思っています。

今回の資料は 4 月の段階までの結果ですが、一応 5 月分も計測しておりまして、この最終時間の利用者が 1 名見えました。今後日没が遅くなってきたらこの時間の利用者数が変わってくる可能性もありますので、その辺も見つつ、増便がいいのか、時間変更がいいのかをご相談をさせていただき、利用しやすくすることで少しでもバスを使っただけのようにしていきたいと思っております。

あと、コメリ・ぎゅーとらバス停の件につきましても、利用者の方が少しでもバスを利用しやすくしていただけるように、町と協議し三重交通でも取り組みをしていきたいと思っております。

ただ、駐車場に乗り入れる関係上、安全面については注意しないといけないので、運転手の指導等、その辺も踏まえて安全にお客様を輸送できるように検討し、利用者の方に利用しやすいようにこちらもご提案したいと思っております。

最後、資料としてお渡ししましたこの「みちくさきっぷ」について説明いたします。以前は、切符購入の当日しか使えない形でしたが、スクラッチ形式になりまして、購入後、スクラッチした日から 2 日間利用できる形になっております。観光客向けの商品ですが、バスを 2 日間利用されるのであれば安くなります。

今は 1Day2Day とで、デジタル版が出ています。購入もしやすくなれば、もっと使いやすくなると思います。今後、みちくさワイドでも検討しまして、もっと購入しやすいようにしたいと思っております。

また、三重交通グループアプリというのも、3 月下旬から配信が始まり、グループ会社のいろいろな割引特典、またこのみちくさきっぷも販売しております。検索していただくとバス以外の施設等の割引もありますので、また活用いただければありがたいなと思っております。

(田畑会長)

サービスの向上については大歓迎です。行政と連絡を密にして、実現していただくようお願いいたします。古市委員、何かありますか。

(古市委員)

コメリ・ぎゅーとらバス停に関して、デマンドバスの主な利用者は病院や商業施設行きであり、現在もこ

こへの乗り入れは多い状態です。

駐車場内は不規則な動きをしますし、お客様が多い時間にデマンドバスの運送も集中しております。危険な状態にあることは間違いないため、加藤先生も仰ってみえますが、一方通行にするなどの安全面の配慮は必要と感じております。

ただ、町営バス、病院のループバス、デマンドバスが入りますので、住民のお客様にとっては魅力的ですし、動きはよくなると思います。

(田畑会長)

行政とも連携密にしてサービスの向上を図っていただければと思います。

(加藤副会長)

先ほどの議題 2 の中の墓地の停留所の申請、あるいは議題 3 のぎゅーとらの所の新設について、現状の資料では協議しても有効になりません。どういう場所に置くかをちゃんと図面で示していただかないと警察も判断できません。また、通常は警察が現地にて判断します。この会で協議しても警察さんが現地を見ていないとわからないので、現地確認の後、協議してやるようになります。資料 4 に、地域公共交通会議のどこで確認・協議をするか書かれていません。今回の会議の説明だけで 10 月に運用開始とはできないことを理解してください。

どこで協議して、いつ始めるためにはいつまでに協議が必要であるということ。やろうと思っていたらできないでは困りますのでちょっとご注意いただきたいと思います。

(事務局)

今後、事業者様ともお話を進めていくとともに、正式にバス停の設置の承諾をいただきましたら、伊勢警察様とも協議を行い、運用準備を進めて参ります。

(田畑会長)

事務局もその辺りはしっかり協議していただいて進めてください。

(福井委員)

コメリ・ぎゅーとら前バス停につきまして、店舗利用者さんの車両が通りますので、「バスから停留所でバスを降りて店舗へ行く」、「店舗からバス停に向かう」というような歩行者の動線をしっかりしておかないと、駐車場内での交通事故の発生が心配だと感じました。

ですので、屋根つきの通路や、路面標示によってここを通るんだよ、という区分けをして、安全に配慮していただければと思いました。

(田畑会長)

利便性が向上しても、危険性まで向上してしまうと問題ですので、行政のほうも慎重に考えてください。

本日の会議はこれで閉じさせていただきます。

貴重な意見もたくさんいただきまして、実りのある会議になりました。これからもこれ調子で、よろしく願います。お疲れさまでした。 (閉 会)